

## ●プロフィール

■制作 (マネージメント・構成・編曲・司会) / 松本憲治



東京藝術大学卒業。音楽を専攻しつつ在学中より作曲を高田三郎、島岡譲、また早川正昭の各氏に師事。現在オーケストラ、オペラ、合唱の指揮、多様なジャンルの作・編曲などで活動、様々な地域での市民のための文化芸術制作を幅広く実施している。中国新聞文化センター講師、廿日市市芸術文化振興事業団特別顧問など。平成17年広島市より広島文化賞、平成27年廿日市よりさくら賞、同年広島県より広島県地域文化功労賞。

■演奏者

○枝松 瞳 / ソプラノ



東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学別科修了。日本歌曲振興会第18回日本歌曲コンクール声楽部門第1位及び四家文子賞受賞。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部29期修了。オペラでは文化庁新人育成オペラアンサンブル公演「イル・カンビエッロ」(ガスバリーナ)で本格デビュー後多数オペラに出演。また宗教曲のソリストとしても活躍。2012年より広島に拠点を移し、県内外において幅広く活動。広島市在住。

○今井千晶 / ヴァイオリン



愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻(音楽学)卒業。日本音楽学会中部支部例会にて卒業論文を発表。エリザベト音楽大学大学院器楽科(ヴァイオリン)修了。現在、エリザベト音楽大学非常勤演奏助手、助手、瀬戸フィルハーモニー交響楽団団員、はつかいちジュニア弦楽合奏団「NOZOMI」インストラクター、はつかいち室内合奏団「SA・KU・RA」団員。

○宮本隆一 / チェロ



東京音楽大学付属高等学校を経て東京音楽大学卒業。東京音楽大学大学院修了。第8回日本アンサンブルコンクール室内楽部門優秀演奏者賞、全音楽譜出版社賞受賞。アメリカでCreative Strings キャンプに参加。在京中、東京フィルハーモニー・オーケストラをはじめ様々なプロ・オーケストラに参加。現在、広島を中心にソロ、アンサンブル、オーケストラで活動中。ノートルダム清心中・高等学校弦楽部コーチ等。

○大下さちこ / ピアノ



エリザベト音楽大学器楽学科ピアノコース卒業。森脇久仁子、島岡洋子、柴田美穂の各氏に師事。国際セミナーにてJ・ルヴィエ氏のマスターコースを受講。2005年~2009年ベルリンにて日独記念演奏会に出演し、R・ファルティン女史による音楽講習会の伴奏者を務める。現在、広島を中心に、ソロの他、声楽、合唱、器楽アンサンブルなどで活動。

■ステージスタッフ / 楢垣伸朗

長く、主に照明スタッフとして篠本照明株式会社に所属し、照明プランの他、舞台全般の舞台監督業務に携わる。現在フリーの舞台監督として様々なコンサート、イベントの制作進行業務に関わっている。

## ボランティアスタッフ募集中

各種イベントにスタッフとして参加したい人や、誰かの応援をしたい人を募集しています。

一般社団法人海田町文化スポーツ協会

# 世界の名曲コンサート

~美しいメロディー~

## 母が教えてくれた歌

広い年齢層の地域住民を対象に、人類共通の財産である「クラシック」と言われる芸術音楽を親しめる内容で、人の心の豊さ、深さ、素晴らしさ、そして地域の人々の共生を音楽を通して感じるコンサート

日時 令和6年6月30日(日)  
13:30開演(13:00開場)

会場 織田幹雄スクエアホール

主催 一般社団法人海田町文化スポーツ協会

後援 海田町教育委員会



## 世界の名曲コンサート ～美しいメロディー～ 母が教えてくれた歌



### ●プログラム

解説：松本憲治

- 1) **トルコ行進曲** (ピアノソナタ第11番イ長調より) ・ピアノ独奏  
／W. A. モーツァルト (1756～1791)  
モーツァルトが1778年頃(22歳の頃)作曲されたといわれるピアノ・ソナタ第11番の、とても有名な第三楽章。当時のヨーロッパの人にとって「トルコ」は珍しい東の国。その軍隊が行進する時  
用いた「威勢のいい太鼓やシンバル」は大いに驚かれ、さまざまな作曲家が模倣しました。
- 2) **思い出**／F. ドルドラ(1868～1944) ・ヴァイオリン独奏  
フランティシェク・ドルドラ(1868～1944)は、チェコのヴァイオリニスト、作曲家。ヴァイオリ  
ンは「美しいメロディー」を奏でる最高の楽器の一つで、この楽器のために書かれた愛らしい小品は  
数多くありますが、夢見るようなこの曲も世界中の人々に愛されています。
- 3) **ボカリーズ**／S. ラフマニノフ (1873～1943) ・チェロ独奏  
ロシアの作曲家。「ボカリーズ」とは歌詞のない、母音のみで歌われる曲、あるいは歌唱法。この曲  
ももとは「ピアノ伴奏の歌曲」として発表されましたが、あまりに美しいので様々な楽器のほか、管  
弦楽にも編曲されています。本日はチェロの独奏で。
- 4) **スラヴ舞曲第二集より第二番ホ短調**／A. ドヴォルザーク (1841～1904) ・三重奏  
チェコの作曲家。自分の国の音楽を大事にしようという集まりである「国民楽派」に賛同しスラヴ  
＝ボヘミアのリズム、旋律を取り入れた二つの舞曲集(元は連弾曲)の内、第二集のとても叙情的な  
メロディーを持つ第二曲目です。
- 5) **母が教えてくれた歌**／A. ドヴォルザーク (同上) ・ソプラノ+三重奏  
この曲も同じくチェコの詩人アドルフ・ハイドゥークの詩による歌曲。全7曲からなる歌曲集  
「ジブシーの歌」(作品55)の第4曲で、悲しくも懐かしさ溢れる美しいメロディー。  
年老いた母が私に この歌を教えてくれた時 母は涙を 浮かべていた  
今は私がこの歌を 子どもに教える時となり 私の目から 涙があふれ落ちる(松本補訳)
- 6) **日本の歌曲**／「平城山」・歌曲集「日本の笛」より「びいでびいで」 ・ソプラノ独唱  
／詩：北見志保子・北原白秋 作曲：平井康三郎 (1910～2002)  
「平城山」は昭和9年作曲。北見志保子は歌人。シンプルながら奥深い抒情旋律とピアノで秘めた  
恋を歌う。「びいでびいで」は別名「南洋ザクラ」。北原白秋の「日本の笛」より。赤い花が揺れる爽  
やかで明るい日差しの中、若い男女の清々しい秘め事。



- 7) **現代の日本歌曲**／「くちなし」 ・ソプラノ独唱  
／詩：高野喜久雄・作曲：高田三郎 (1913～2000)  
高野喜久雄は数学の教師だった詩人。高田三郎とのコンビで歌曲、合唱曲の名曲を生んでいる。こ  
の「くちなし」は高田三郎の芸術歌曲の中でも指折りの名曲と呼ばれファンが多い。切々とした亡き  
父への想いが、日本語の語り口を大事にした抒情的なメロディーで流れていきます。
- 8) **童謡**／**雨**／詩：北原白秋・作曲：弘田龍太郎 (1892～1952) ・ソプラノ独唱  
大正7年児童雑誌「赤い鳥」発表。翌大正8年作曲。大正時代は「赤い鳥」をはじめ「金の船」な  
ど児童向け童謡誌が興盛を極め、「当代一流」の名詩人、名作曲家が名を連ね、後代に残る名作を生  
み出している。梅雨に降り込められ一人留守番をする女の子(男の子)のやるせない抒情。
- 9) **唱歌** **海**／文部省唱歌 ・ソプラノ+三重奏  
大正2年尋常小学唱歌5年用で発表。作詞作曲者不詳。明治期の後半から大正初期にかけて作られ  
たいわば「官製」の唱歌の中の名詩であり名曲。「見事に形の整った官製唱歌」にあわせ「民の自由  
な感情を歌った童謡」は、その後の大衆音楽、また芸術音楽の基礎となった我が国の貴重な文化芸術  
財産である。
- 10) **現代の歌** **見上げてごらん夜の星を** ・ソプラノ+三重奏  
／永六輔・いずみたく (1930～1992)  
昭和31年に発表され爆発的に流行した、永六輔、いずみたくコンビによる名作。最初に6度(ソ→  
ミ)の跳躍からオクターブの2度上(ラ)まで駆け上がる旋律は劇的ながら歌いやすく、多くの日本  
人が口ずさんだ、といわれている。

(※ みんなで歌いましょう!)

海	五、	四、	三、	二、	一、	雨
文部省唱歌	雨がふります	雨がふります	雨がふります	雨がふります	雨がふります	雨 作詞：北原白秋 作曲：弘田龍太郎
松原遠く消ゆるところ	夜もふる	雨がふる	雨がふる	雨がふる	傘はなし	遊びにゆきたし
白帆の影は浮かぶ	雨がふる	雨がふる	雨がふる	雨がふる	緒が切れた	紅緒の木履かっこも
干網浜に高くして	雨がふる	雨がふる	雨がふる	雨がふる	今啼いた	小雉子も寒かる
かもめは低く波に飛ぶ	雨がふる	雨がふる	雨がふる	雨がふる	寂しがる	けんけん小雉子(こきじ)が
見よ昼の海	雨がふる	雨がふる	雨がふる	雨がふる	たたみましよう	千代紙折りましよう
見よ昼の海	雨がふる	雨がふる	雨がふる	雨がふる	たたみましよう	いやでもお家で
浦風軽(かろ)く沙(いさ)吹く	雨がふる	雨がふる	雨がふる	雨がふる	遊びましよう	遊びましよう
見よ夜の海	雨がふる	雨がふる	雨がふる	雨がふる	たたみましよう	たたみましよう

